

2023 五並中学校 グランドデザイン

※五並中生であること(あったこと)に搖るぎない自信と誇りを生涯にわたってもつことができる生徒に

教育目標「豊かな心の生徒」

<目ざす生徒像>

深く考え、自ら学ぶ生徒

思いやりの心をもち、助け合う生徒

気力をもって、やりとげる生徒

<学校経営方針>

- ・「学ぶ楽しさ」を実感させ、自己表現力を基盤にした確かな学力を育成
- ・一人一人が輝き、活気あふれる学校、温かさとぬくもりのある居心地のよい集団づくり
- ・地域・保護者が通わせたいと思える信頼される学校づくり
- ・チームとしての組織力を強化と教育公務員としての倫理観とタイムマネジメント意識を高める

学習指導

～基礎学力を基盤とした、自己表現力の育成～

- ① 学習規律・学習習慣の定着
 - ・授業始めと終わりの挨拶、聞き取りやすい声での返事・発言
 - ・課題は期限までに提出できるように、必要な個別支援を実施
- ② 基礎学力の定着
 - ・タブレットを使用した個別学習の推進
 - ・基礎学力コンクールの実施
- ③ 自分の考え方や思いを表現する力（プレゼン力）の育成
 - ・生徒が「伝えたい」と思う問題解決的な授業の実践
 - ・学習形態の工夫（ペア学習・グループ学習・発表方法）
 - ・「五並トーク」や道徳の授業での意見の発表の仕方や聞き方（リアクション、うなづき、笑顔）の習得

総合的な学習の時間（輝）

- ～児童（生徒）運転で進む総合的な学習の時間～
- ・振り返りを手がかりにして生徒の願いや問題意識に沿う単元を開拓する。
 - ・課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現といった探究過程が繰り返される単元を開拓する。
 - ・グループでの話し合い活動を取り入れ、協働的に取り組めるようにする。
 - ・SDGsを取り入れたりICT機器を活用したりする。
 - ・12月に全体発表の場を設け、表現力や発信力を養う。

《 合言葉「い・な・み」の実践 》

「い」 いつもにこにこ 明るいあいさつ
「な」 何でも挑戦 チャレンジ精神
「み」 みんなで力を合わせ きれいな学校

Inami J. H. School

家庭・地域との連携

- ・保護者、校区自治会、学校評議員、校区健全育成会との情報の共有化
- ・登下校巡回・見守りの依頼
- ・校外教育活動の協力依頼

校区の小学校との連携

- ・学校間の情報の共有
- ・小学校6年生の体育祭参加
- ・小中音楽交流会の実施

保護者の願い

- ・主体的な学習、学力の向上
- ・規律ある学校生活
- ・登下校・学校生活の安心安全

開かれた学校づくり

- ・積極的な情報発信（五並中だより、学年だより、ホームページ等）
- ・授業・行事の公開
- ・安心安全な環境ときれいな環境づくり

特別活動

- ① 生徒会執行部、委員長、学級2役等のリーダーの育成
- ② 物怖じせず、声を出せる、自分を出せる生徒の育成
- ③ 仲間とともに活動する喜びや感動を味わえる生徒の育成
 - ・生徒主体の全校集会・委員会の活性化
 - ・行事や全校集会では、縦割り班や実行委員が活躍できる場を設定し、充実感や達成感を味わわせる。
 - ・行事後の振り返りにより、互いの個性を認め合い、活気ある五並中にしていくという意識を高める
 - ・本年度の生徒会テーマ「イルカ」を意識させることで各行事等のねらいを明確にする。
 - ・全校集会や帰りの会で「歌」の時間を設定し、いつでも大きな声で歌うことができる生徒を育成する。

現職研修

主体的・対話的な深い学びをする生徒の育成

～高め合い、支え合う生徒集団づくりを通して～

- ① 学ぶ楽しさの実感と自己表現力の育成のために
 - ・関わり合い深め合うための「問題解決的な授業」の創造
 - ・自己決定の場の設定と振り返りをつなぐ単元構想・タブレットの活用
 - ・授業研究会（自立 学活 数学）
 - ・「五並トーク」や道徳授業の相互参観
- ② 安全で安心な元気な学校づくりのために
 - ・学校危機管理研修、不祥事防止研修：教頭
 - ・心肺蘇生研修、食物アレルギー研修：養護教諭
 - ・ネットモラル研修：生徒指導主事
 - ・不審者対応研修：市役所安全生活課
 - ・SSTとピアサポートに関する研修：殿木道子 SC

部活動～人をつくる～

- ・自己の個性や能力を発見し、その伸長を図る。
- ・礼節・協調性を伸ばし豊かな人間性を育てる。
- ・体育的活動を通して健康な身体と心を養う
- ・ルールを厳守する態度を養うことにより社会性の涵養を図る。
- ・チームとしての所属感や連帯感を身につけ、愛校心を育てる

